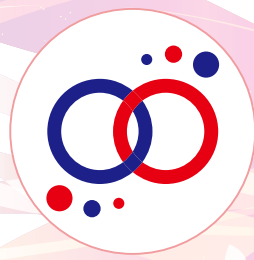


倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
 TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
 TEL 086-446-6541



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

障害があっても社会参加 就労移行支援事業所サンレイユ体験会に参加して

【高次脳機能障害を就労につなげる】
 1月22日に就労移行支援事業所サンレイユ(株)で支

援者向け体験会に参加し、実際に事業所で実施されている生産活動や研修・プログラムの体験をさせていただきまし



実際の作業現場の見学にて臨場感を体感

この体験会は12月16日に開催された岡山県高次脳機能障害普及事業の勉強会で紹介されて大変興味があり申し込みました。
 【職場で頼りにされる人材育成を目指す姿勢に感銘】
 印象的だったのは、ただ就労することを目標とするのではなく、働き手として認められることを目指して支援されているところです。
 アセスメントで自分の現在地を知り、研修やプログラムで自分自身や社会について学

ベッドの上でも社会と繋がり、自由度が拡大できる意思伝達装置 ALS患者での伝達装置の活用事例紹介を聞いて

【補装具装着訓練等支援事業へ参加】

昨年9月18日に川崎医科大学附属病院の宮崎彰子先生に当院へ訪問頂き、意思伝達装置の事業内容を当院職員に説明して頂きました。当院でもiPadを活用した伝達装置(図1)を作成しており、大変充実したディスプレイがで

きました。

【寝たきりでも利用者のサインを逃さない姿勢】
 この度、2月1日に意思伝達装置に関する講演会(図2)が開催されるお知らせがあり、興味を持ち参加しました。今回は、作業療法士の本間先生が、重度障害者用意思伝達装置やナースコールスイッチの

支援についてお話をされました。講義ではALS患者さんへの関わりを通じて得た気付きや、患者様のどんな小さなサインも見逃さず、諦めない気持ちの重要性を強調されており、その姿勢に感銘を受けました。
 【様々な工夫が散りばめられた意思伝達装置】
 スイッチの工夫では、プレートやエアバッグなどを使用し、患者様の能力に合わせて位置や角度を調整するなど、様々な伝達装置が開発されていま



残された機能を活かすために利き手を交換し、復職に向けたトレーニングを実践

うして働く力を養っていくそうです。
 自分らしさを大切にしながら輝ける存在になれるよう支援されているところに感銘を受けました。
 【リハビリで参加を助ける】
 入院されていた方も就労に意欲があり、脳梗塞を発症した後遺症として右片麻痺が残りましたが、50歳代とまだ若く、自分にできる形で今後も働きたいという想いを持たれていました。

たとえ障害があっても、利き手交換など残された機能を活かし出来ることからはじめ、作業所などで働くことにより社会の一員として喜びや生きがいを持てるのではないかと感じました。
 今後患者さんと社会をつなぐ架け橋となれるよう、日々精進したいです。
 (コープリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟 作業療法士 新池かおり)



図1 □で啜えたタッチペンでタブレットを操作するAさん

した。他にも特別な楽器による再演奏の機会を作り、生きがいや希望への支援。病前から自分の声を録音して使用する「マイボイス」や、言いたいことを読み取りやすいフリック式文字盤(図3)にするなど、多様なツールについて知る機会となりました。たとえ、寝たきりでも自由度が拡大できる工夫があることを知ることができた良い講演会でした。

(コープリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟 作業療法士 高橋 涼)

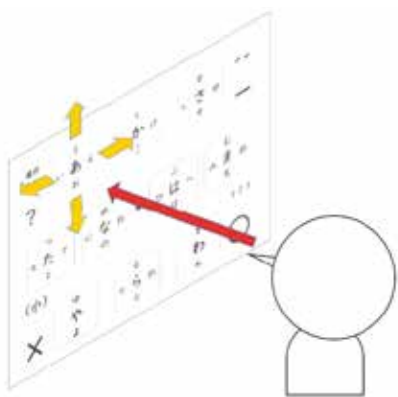


図3 講演会にて提供頂いたフリック式文字版(目線で文字選択が可能)

補装具装着訓練等支援事業
重度障害者用意思伝達装置にかかわる講演会

■日時 2025年2月1日(土) 14:00~15:30 (13:30~受付開始)

■場所 川崎リハビリテーション学院 8階講堂
 〒701-0192 岡山県倉敷市松島672
 ※駐車場は、川崎医科大学附属病院第二駐車場をご利用ください。サービス券を受付にてお渡しいたします。

■内容 重度障害者意思伝達装置やナースコールスイッチの支援での小さな気づきから広がったALS患者さんへの関わり

■講師 本間 武蔵先生(東京都立神経病院 作業療法士) **参加費 無料**

■対象者 医療・医療介護・行政にかかわる職種 ■定員 100名

■申し込み先 ①あるいは②よりお申込みください。
 ①sev-com@hp.kawasaki-m.ac.jp
 (件名を「講演会参加申込」で所属機関、参加氏名、職種、メールアドレス必須)
 ②二次元コード

■お問い合わせ先: メールあるいはお電話にてお願います。
 sev-com@hp.kawasaki-m.ac.jp
 TEL. 086-462-1111 (代)
 リハビリテーションセンター宮崎

■お問い合せ先:

主催:川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター

図2 事例を交えた意思伝達装置の講演会

新任薬剤科科長着任

コープリハビリテーション病院
薬剤科 科長

三宅 美恵子



この度、コープリハビリテーション病院へ異動して参りました薬剤師の三宅美恵子と申します。水島協同病院に入職し17年程、急性期医療の業務に携わり、医療や薬について多くのことを学ばせて頂きました。これまでの経験を活かして、患者さんや医療スタッフの視点に立った仕事をしたいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。

業務継続計画（BCP）研修 職場内の転倒・落下・移動 防止対策点検を行いました

業務継続計画（BCP）とは、大規模災害や感染症が発生



老健あかね通所リハ室にて点検をしました

生した際に、必要なサービスの継続のために、平時からの準備や訓練実施、発生時の対応などをまとめたものです。今回、大地震が発災した際の対策として、職場内の転倒・落下・移動防止対策点検を行いました。地震での被害拡大の要因は、家具や棚の転倒、落下物の直撃による怪我等が大きな理由です。日頃、便利と置いていた屋内のレイアウトも、災害を想定すると危険が潜んでいることがあります。特に、避難経路にあたる箇所は気をつけたいといけません。

3月の研修では、東京消防



職員による歩行訓練

老健あかねにソワニエ看護専門学校との2年生3名が2週間、老年看護学Ⅰの実習に来ました。基礎実習の段階で高齢者を知り、どう関わるのか、日常の生活の援助、保健医療施設の看護師の役割、多職種との関わりなど実習を通して学びました。老健あかねで

未来の看護師へ向かって前身する 看護学生が老健あかねに実習に来ました

老健あかねにはいろいろな利用者様が入所やショートステイを利用されています。実習期間中は学生が1人の利用者様を受け持ち、コミュニケーション、オシメ交換、看護業務の見学などを行いました。私は今でも実習で受け持たせて頂いた方のことを覚えて

います。実習ほど1人の利用者様と深いかわりができる機会はありません。今回の実習も学生に様々な思い、考え、学習したことも、経験などがこれからも残っていくことと思っています。

学生はこれから1年をかけた本格的に各論実習を経験していきます。できるだけ様々なことを経験してもらえればと思っています。今回の実習が、今後の各論実習や、未来の看護師へ向かって前進していく学生にとって良い刺激、励みとなつたら嬉しいなと思っています。(老健あかね 看護師 小池潤二)

診療表		コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]	
診療時間	月	火	水	木	金
外来	午前 9:00 ~ 12:30	午後 14:30 ~ 15:00	午後 9:00 ~ 16:50	午後 9:30 ~ 11:00	
器具外来					
歯科					
通所リハビリ					
短期集中健康アップ教室					
訪問リハビリ					
通所リハビリ					
4/28,5/19 中角 (整形外科)					
渡辺 (予約制)		滝本 (予約制)			
飯塚					
太田		滝本 (予約制)			
香口					

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00~12:00 13:30~16:30 土曜日 9:00~12:00 日・祝日 休み



お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30
土曜日 9:00 ~ 12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。